

会 議 記 録 （概 要）

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和6年度第4回高松市総合都市交通推進協議会
開催日時	令和7年2月21日（金）15時30分～16時
開催場所	高松市防災合同庁舎 301会議室
議題	議事 （1）地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通バリア解消促進等事業）に関する生活交通改善事業計画について （2）路線バスにおけるバス停留所の変更について （3）タクシー配車アプリの導入に係る状況報告について （4）その他
公開の区分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上記理由	—
出席委員	土井会長、紀伊副会長、藤本委員、斎藤委員、木村委員、川崎委員、前田委員、古川康造委員、土井委員、上枝委員、多田委員（代理：横田）、片庭委員、菊池委員、十川委員（代理：小野）、仲西委員、板東委員、大西委員、形部委員、松田委員、溝渕委員 オブザーバー：谷藤課長、奥村課長 （欠席者：新居委員、古川和毅委員 2名）
傍聴者	8人（傍聴席：10席を確保）、報道4人
担当課及び連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果
開会 （事務局） 本日は、委員の半数以上が出席しているため、当協議会規約第6条第2項の規定により、会議は成立している。 1 議事 次の議事について協議し、下記の結果となった。 （1）地域公共交通確保維持改善事業（地域公共交通バリア解消促進等事業）に関する生活交通改善事業計画について

・・・高松琴平電気鉄道(株) 藤本委員から説明(資料5)

以後審議

(会 長)

この議事1について、意見・質問はあるか。

・・・意見なし

(2) 路線バスにおけるバス停留所の変更について

・・・事務局から説明(資料6)

以後審議

(会 長)

この議事2について、何かご質問、ご意見はあるか。

(委 員)

ことでんバス(株)としては、今年度4月に、運転手不足、2024年問題等を踏まえ、大幅な減便を実施した。その中で、高松市からの経営支援もあり、運転手の確保に努めてきた。今年度は11人採用した一方、退職者も11人となり、増減は0人という状況である。今後も運転手の確保に向けた取り組みに、公共交通機関として引き続き取り組んでまいりたい。

昨年4月に実施した、減便により課題が生じている路線について、今年の4月から、課題を解決するため、再編による運行を開始する。

バス停の変更については、寿町バス停は、交差点付近にあり、交通量も多く、安全運行に関して、現場からヒヤリハット報告を受け、度々、安全会議で取り上げることが多い場所であった。その中で、今回検討し、前後のバス停の距離が短いこと、前後のバス停に比べて、利用者が少ない状況であることから廃止することとした。その他バス停を利用するお客様には、所要時間が短くなるという利便もあると考え決定した。当該バス停をご利用されているお客様にはご迷惑をおかけするが、安全面の確保も重要であるため、ご理解をいただきたい。

(会 長)

路線再編については、今までご迷惑をかけていたところについて改善をしたということであり、バス停の変更についても、今後、利用者目線及び安全面の両面を考慮した取り組みを行っていただきたい。

(3) タクシー配車アプリの導入に係る状況報告について

・・・高松タクシー協会 川崎委員から説明(資料7)

以後審議

(委 員)

運転手からの報告では、利用者はスマートフォンを利用する若い世代が多い。今まで利用していなかった若い世代が、気軽にタクシーを利用できるツールとなっている。また、高松へ頻繁に出張等で来られる方や観光客にも使いやすいのではないかと考えている。

まだまだ周知ができていないことが課題であり、4月からの本格運行の際には、大々的に広報

を行う予定である。

今後、タクシー協会として、アプリの対応車両を増やし、利用者にとって利便性の高いものにしたい。将来的には、香川県全域にこのアプリを普及させ、多くの方に利用していただけるようにしたい。利用状況等については、引き続きこの協議会で報告する。

(会 長)

この議事3について、何かご質問、ご意見はあるか。

(委 員)

先程の駐車場アプリと同様に、このアプリを使用する県外からの観光客、ビジネスマン、香川県の高松市以外の人への周知方法についての考えはあるか。

(委 員)

今後の広報については、4月の本格運行に向けて、来県者の窓口である高松空港や高松駅、ことでの駅でのPRを考えている。また、ホームページ掲載など、4月に向けて準備していきたい。

(委 員)

駐車場アプリなど、いろいろなアプリが開発されているが、高松市が高松空港など来県者に向けて、まとめて周知すればいいのではないか。

(事務局)

移動に関する情報を一元的に発信することは重要であるとする。最終的に目指しているのは、アプリだけでなく、MaaSという、移動する方が様々な公共交通機関を使って、目的地にたどり着くことや決済の仕組みも、一元的に管理していきたいところである。各アプリを地理空間データ基盤と連動できるように開発していただいている。ご指摘のあった駐車場アプリも地理空間データ基盤と連携ができる仕組みになっている。最終的に、地理空間データ基盤をハブにして、MaaSに繋がるサービスを提供出来ないかと考えている。更に、それに決済機能を付けていということを目指していく。その過程で周知の仕方に関して工夫していくことが必要である。

駐車場アプリに関してだけでなく、目的のある方に対して正確な情報が届く、例えば、高松市の中心市街地でのイベント主催者が、イベントを周知する際に、アプリの周知も行うなど、目的側で移動手段等の情報を伝える取組みをしていきたい。

(会 長)

共創 MaaS 補助金を活用したとのことだが、いかに低コストで維持していくかも考える必要がある。事務局からの説明があったように、広い意味でのデータ連携を活用して、事業者が負担のないように、行政側にも取り組んでもらいたい。まずは定着させることが重要なので、様々な場所で広報をお願いしたい。

(会 長)

他に、何かご意見はあるか。

(委 員)

香川県立アリーナのオープンで、周辺駐車場への渋滞の心配がある。1万人規模の移動については想定がつかないが、実際、5千人規模のイベントでは、駐車場は約2千台が不足になるとの結果が出ている。丸亀町商店街で1,200台の駐車場を用意している。イベント参加者には、サンポートだけでなく、商店街にも駐車し、そこから徒歩や公共交通で移動してもらうなど、商

店街に少しでも滞在してもらいたいと考えている。利用料も半額のサービスを行う。すでにアリーナには割引認証機を設置している。若干でも駐車場不足の解消になるのではないかと考えている

(委 員)

タクシー配車アプリのデータを集めたものを活用することがあるのか。

(委員)

データの活用については、事務局から説明があったとおり、今後、市の地理空間データ基盤を活用するしていくことを計画している。

(会 長)

公共交通の中では、タクシーが一番問題を抱えていたが、それを解消することができるかもしれない。

公共交通やシェアサイクルなどの移動手段を、MaaS、データ基盤、アプリ等と連携して活用をすすめてもらいたい。

(4) その他 事務局より連絡事項

次回の協議会の開催については、5月の開催を予定しており、具体の日程については、改めて調整させていただく。

閉会

以 上